

凶作に処して希むもの

經濟安定方策を講ずる

施策の樹立

昨年に続く稻の成育進延で凶作が思つた。

懸念される夏を迎へ、農民の経済状態はデフレの影響と本春の霜害による減少に、昨年の凶作の重圧とで四苦八苦の土壠場へ愈々迫つて連戦のない窮屈思想の悪化の寸前の出現を呈して来た。

あてにして供給代金も差引残り妻を売らねば税金も出せぬと云う農民の血の叫びを聞く現実となつた。ここで又凶作に逢つたら予想もおぞろい事である。改良事務所の田野技術や農協の技術員の事前防除の急に飛び歩く姿を早朝よく見受けれる真剣さには感謝する。村では速に灾害事前防除の対策と農家経済安定方策を講ずる施策の樹立を要望する。

凶作苦難の今日第一期農委が終足しの活動に大いなる期待を持つものである。農業委員会の任務は、農地闇關係についての法律に定められた事項の處理、イ供米割当の譲問、口農業に関する総合計画等の建議、又仕事への関心が薄かつたのか、今は諂ひの三つに大別に出来得ると、

稻作イモ穂消毒の時期をあやまるな

くなつてゐる。農家客户に於ても本年は特に懸命との稻作管理はやつてゐる。又農協指導者全技術員が等地指導に當り、各部落へ病虫害防治班などを設置し、稻作病虫一層の注意をして頂き、一粒も多